

香港メディア 当社掲載記事

日企密謀來港上市 組「香港新股俱樂部」

巴西礦業巨擘淡水河谷的HDR每日登陸港交所(0388),原來一班日本嘅企業亦心思,想過來香港上市集資...

業澤思話,日本的IPO近年一片死寂,一年不到20間公司上市,同日本早年的200間差天共地,家陣香港今年都有成100間公司上市...

小琴記得90年代都有啲香港有業務的日資公司在港上市,最出名的當然係八百伴。但過去十幾年,日資公司嘅香港差唔多絕跡...

明報 2010年12月9日

日產經省明年組團 探路日企來港上市

香港文匯報(記者 區柏毅)由港府及貿發局合辦的「亞洲金融論壇」將於明年1月17至18日舉行...

日業界組「香港上市俱樂部」

他透露,日本業界多年前已成立了一個「香港上市俱樂部」,成員包括當地的券商及港上市的公司...

新股在港可以一次過與他們相見的機會會否,日後可能只需在港路演就可以得到很好的效果...

聯匯制爭海外企業IPO有優勢

洪丕正續說,曾以本港目前已吸引不少海外企業來港上市,如德國、法國、俄羅斯的巴西的企業...

此外,洪丕正指出,金融海嘯發生兩年,全球經濟繼續復甦,惟各地區的復甦步伐不一...

文匯報 2010年12月9日

亞洲金融論壇明年初舉行 由特區政府與貿發局合辦的「亞洲金融論壇」,將於明年1月17至18日舉行...

大公報 2010年12月9日

日企來港上市有難度 日本新上市市場一片冷寂,去年日本新上市市場一片冷寂...

日企傳來港上市探路 近年日本新股市場一片冷寂,早由日本業界自發成立「香港新股俱樂部」...

三家日企籌備來港 據安永的報告,有三家日本新上市公司在港上市,包括安永及豐田...

東方日報 2010年12月10日

太陽報 2010年12月10日





<2011年1月17日 信報（抜粋日本語訳）>

日本企業が自発的に倶楽部を組成し、香港上場への道を開く

香港証券取引所(388)が日本企業の香港上場に門戸を開いてから、多くの日本企業が意欲を示し、香港という資金調達プラットフォームを活用しようとする。日本企業のフィナンテックは去年3月に、香港に上場したい日本企業を支援するための、香港 IPO 倶楽部(Hong Kong IPO Club)という組織を発足させた。

香港上場に東洋の風が起こり、これからの三日間は、香港で開催する「アジア金融フォーラム」と合わせて、本紙はみなさんに日本企業の香港上場について報道する。

アジア金融フォーラムに参加

香港 IPO 倶楽部を運営するフィナンテック CEO の甲斐総裁によれば、現在多くの日本企業が中国マーケットでの事業が日増しに拡大しており、また、日本は去年22の新株しか上場しなかったのに対し香港証券マーケットの取引量が大きく、去年のIPO 資金調達額が世界一の4000億元に達している。甲斐総裁は香港 IPO 倶楽部を通じて、日本企業の香港上場、事業資金調達、大陸及びアジアマーケットでのブランド認知度の拡大を支援していきたいと希望している。

現在香港 IPO 倶楽部の会員企業が約30社。会員の多くが香港上場に興味を示していると甲斐総裁が紹介する。会員企業のひとつに投資銀行がある。香港 IPO 倶楽部は香港の上場環境を紹介するために、定時に説明会を開き、Web サイトで情報を更新する。2010年では、主に中国で事業展開している中堅日本上場会社を対象に、香港 IPO 倶楽部が8つの講座を開いた。また、香港貿易発展局の支援を得て、毎回の講座では、香港証券取引所、機関投資家、会計士を含めた香港マーケットの専門家を招き香港株式市場の発展について説明している。

情報によれば、香港 IPO 倶楽部は本日、香港上場に興味のある日本企業の代表たちを案内し、香港での「アジア金融フォーラム」に参加する。彼らは香港の機関投資家と面談し、上場環境を視察する。以前香港での上場意欲を示したことのある、家具及び生活雑貨販売業者 Francfranc 親会社の BALS グループ、及び日本不動産情報業者 NEXTCo もそのうちの2社で、今回も一緒に出席する予定。この2社はともに香港 IPO 倶楽部の会員である。

早ければ第二四半期に上場会社が現れる

そのほかに、以前にも情報があつたが、香港での上場意向がある SBI 証券及び日本建築工事業者の KITO も、香港 IPO 倶楽部の会員である。以上4社はすべて東京証券

取引所で上場している。甲斐総裁は、すでに日本企業が香港上場を申請していると聞いているが、早くても第二四半期になってから初めて正式に上場会社が現れるだろうと話している。

しかし、確かに香港証券取引所が日本に本社のある企業の香港上場を許したことは日本企業に香港上場の魅力を増幅させたが、香港は国際会計基準を使うが、日本がGAAPを使っているように、香港と日本の会計制度や法律に違いがあり、ゆえに技術問題の処理に比較的時間がかかる、と甲斐総裁が指摘する。

日本企業が大陸市場を開拓するためにパートナーを探す必要がある。倶楽部会員は香港での上場自体とともに、上場を中国進出の踏み台にしたいとも希望している。そのために、フィナンテックは日本 Brand100の Web サイトを開設し、資金と事業提携を望む日本企業をリストアップしている。

インタビュー、作成：陳潔楡、江凱妮

<2011年1月18日 信報（抜粋日本語訳）>

フォーラムに出席し商機を伺う

日本企業の香港上場を支援する香港 IPO 倶楽部は昨日の「アジア金融フォーラム」に出席し商機を伺った。甲斐昌樹主席は、年内に1, 2社の日本中小企業が香港で上場するだろうと予測した。

現在30社ある香港 IPO 倶楽部の会員企業の多くは純資産50億から300億円の中小企業で、半数以上が香港で上場したいと甲斐主席が示した。また、すでにマーケットで流れている情報だが、日本最大手のネット証券会社の SBI 証券及び某日系アパレル小売業者が上半期に香港で上場する予定。

略。